

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-08-0001_改1
提出年月日	2021年10月28日

工事計画に係る説明資料

原子炉格納施設のうち原子炉格納容器

(本文)

2021年10月

東北電力株式会社

申請範囲

7. 原子炉格納施設

7.1 原子炉格納容器

(1) 原子炉格納容器本体

- ・原子炉格納容器

(2) 機器搬出入口

- ・機器搬出入用ハッチ
- ・逃がし安全弁搬出入口
- ・制御棒駆動機構搬出入口
- ・サブプレッションチェンバ出入口

(3) エアロック

- ・所員用エアロック

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部

a. 配管貫通部

(a) ベローズ付貫通部

(b) ベローズなし貫通部

[1] 直結型

[2] 二重管型

[3] 計装用

b. 電気配線貫通部

7. 原子炉格納施設

7.1 原子炉格納容器




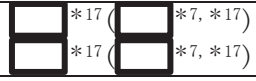
(1) 原子炉格納容器本体

			変更前	変更後	
名 称			原子炉格納容器*1	原子炉格納容器*2	
種 類			圧力抑制形	変更なし	
最高使用圧力	内 圧	kPa	427*3	変更なし 854*4	
	外 圧	kPa	13.7*3	変更なし	
最高使用温度	ドライウエル	℃	171	変更なし 200*4	
	サプレッションチェンバ	℃	104	変更なし 200*4	
設 計 漏 え い 率			0.5 以下 〔常温, 空気又は窒素, 最高使用圧力の 0.9 倍 に等しい圧力において〕		
*6 主 要 寸 法	ド ラ イ ウ ェ ル	上 部 円 筒 部 内 径	mm	*7	変更なし
		鏡板中央部における内面の半径	mm	*7, *8	
		鏡板のすみの丸みの内半径	mm	*7, *8	
		フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	*9 (*7, *9)	
		球 形 部 径	mm	*7	
		下 部 円 筒 部 内 径	mm	*7	
		高 さ*10	mm	*7	
		胴 板 厚 さ*11	mm	*8 (*7) *8 (*7) *8 (*7) *12 (*7)	
		ふ た 板 厚 さ*13	mm	*8 (*7) *8 (*7)	
		個 数	—	1	
	サ プ レ ッ シ ョ ン チ ェ ン バ	中 心 径	mm	*7	
		内 径*14	mm	*7	
		厚 さ*15	mm	*16 (*7)	
		個 数	—	1	

(次頁へ続く)

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(前頁からの続き)

				変更前	変更後			
*6 主 要 寸 法	ボックスサポ ート	た	て mm	 *1, *7	変更なし			
		横	mm	 *1, *7				
		高	さ mm	 *1				
		厚	さ*15 mm	 *17 (*7, *17) *17 (*7, *17)				
		個	数 —	32				
材 料	ド	ラ	イ	ウ	ェ	ル —	SGV49, SPV50	
	サ	プ	レ	シ	ョ	ン	チェンバ —	SGV49
	ボ	ク	ス	サ	ポ	ー	ト —	SM41B

注：記載の適正化を行う。既工事計画書の主要寸法及び個数並びに材料のうち「ベント管」,「ベント管ベローズ」,「機器搬出入用ハッチ」,「逃がし安全弁搬出入口」,「所員用エアロック」,「制御棒駆動機構搬出入口」及び「サプレッションチェンバ出入口」の記載を削除。

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系、原子炉格納容器フィルタベント系、耐圧強化ベント系）及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压炉心スプレイ系、低压炉心スプレイ系、代替循環冷却系、残留熱除去系）、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、代替循環冷却系、残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）、残留熱除去系（サプレッションプール水冷却モード））及び放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可搬型窒素ガス供給系、原子炉格納容器フィルタベント系）及び圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）と兼用。

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：重大事故等時の使用時の値。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「%/day」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主要寸法及び個数」と記載。

*7：公称値を示す。

*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-1 ドライウエルの基本板厚計算書」による。

*9：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-5 ドライウエル主フランジの強度計算書」による。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*12：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-4 ドライウエルの強度計算書」による。

*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ふた板厚」と記載。

*14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「断面径」と記載。

*15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「板厚」と記載。

*16：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-2 サプレッションチェンバの基本板厚計算書」による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

*17 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-15 ボックスサポートの強度計算書」による。

(2) 機器搬出入口

			変更前	変更後
名 称			機器搬出入用ハッチ	変更なし
最 高 使 用 圧 力	内 圧	kPa	427* ¹	変更なし 854* ²
	外 圧	kPa	13.7* ¹	変更なし
最 高 使 用 温 度			171* ³	変更なし 200* ²
* ⁴ 主 要 寸 法	内 径	mm	□* ⁵	変更なし
	胴 板 厚 さ* ⁶	mm	□* ⁷ (□* ⁵)	
	ふ た 板 厚 さ* ⁸	mm	□* ⁷ (□* ⁵)	
	ふ た 板 内 半 径	mm	□* ^{5, *9}	
	胴 長 さ	mm	□* ^{5, *9}	
材 料			—	SGV49
個 数			—	2

注：記載の適正化を行う。既工事計画書では原子炉格納容器として記載。

注記*¹：S I 単位に換算したものである。

*²：重大事故等時の使用時の値。

*³：原子炉格納容器の最高使用温度（ドライウエル）を示す。

*⁴：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主要寸法及び個数」と記載。

*⁵：公称値を示す。

*⁶：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*⁷：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-1 ドライウエルの基本板厚計算書」による。

*⁸：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ふた板厚」と記載。

*⁹：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-7 機器搬出入用ハッチの強度計算書」による。

			変 更 前	変 更 後	
名 称			逃がし安全弁搬出入口	変更なし	
最 高 使 用 圧 力	内 圧	kPa	427* ¹	変更なし 854* ²	
	外 圧	kPa	13.7* ¹	変更なし	
最 高 使 用 温 度			℃	171* ³	変更なし 200* ²
* ⁴ 主 要 寸 法	内 径	mm	□ * ⁵	変更なし	
	胴 板 厚 さ* ⁶	mm	□ * ⁷ (□ * ⁵)		
	ふ た 板 厚 さ* ⁸	mm	□ * ⁷ (□ * ⁵)		
	ふ た 板 内 半 径	mm	□ * ⁵ , * ⁹		
	胴 長 さ	mm	□ * ⁵ , * ⁹		
材 料			—	SGV49	
個 数			—	1	

注：記載の適正化を行う。既工事計画書では原子炉格納容器として記載。

注記*¹：S I 単位に換算したものである。

*²：重大事故等時の使用時の値。

*³：原子炉格納容器の最高使用温度（ドライウエル）を示す。

*⁴：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主要寸法及び個数」と記載。

*⁵：公称値を示す。

*⁶：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*⁷：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-1 ドライウエルの基本板厚計算書」による。

*⁸：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ふた板厚」と記載。

*⁹：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-8 逃がし安全弁搬出入口の強度計算書」による。

			変 更 前	変 更 後
名 称			制御棒駆動機構搬出入口	変更なし
最 高 使 用 圧 力	内 圧	kPa	427* ¹	変更なし 854* ²
	外 圧	kPa	13.7* ¹	変更なし
最 高 使 用 温 度			℃	171* ³
* ⁴ 主 要 寸 法	内 径	mm	□* ⁵	変更なし
	胴 板 厚 さ* ⁶	mm	□* ⁷ (□* ⁵)	
	ふ た 板 厚 さ* ⁸	mm	□* ⁷ (□* ⁵)	
	ふ た 板 内 半 径	mm	□* ⁵ , * ⁹	
	胴 長 さ	mm	□* ⁵ , * ⁹	
材 料			—	SGV49
個 数			—	1

注：記載の適正化を行う。既工事計画書では原子炉格納容器として記載。

注記*¹：S I 単位に換算したものである。

*²：重大事故等時の使用時の値。

*³：原子炉格納容器の最高使用温度（ドライウエル）を示す。

*⁴：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主要寸法及び個数」と記載。

*⁵：公称値を示す。

*⁶：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*⁷：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-1 ドライウエルの基本板厚計算書」による。

*⁸：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ふた板厚」と記載。

*⁹：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-9 制御棒駆動機構搬出入口の強度計算書」による。

			変更前	変更後
名 称			サプレッションチェンバ出入口	変更なし
最 高 使 用 圧 力	内 圧	kPa	427* ¹	変更なし 854* ²
	外 圧	kPa	13.7* ¹	変更なし
最 高 使 用 温 度		℃	104* ³	変更なし 200* ²
* ⁴ 主 要 寸 法	内 径	mm	□* ⁵	変更なし
	胴 板 厚 さ* ⁶	mm	□* ⁷ (□* ⁵)	
	ふ た 板 厚 さ* ⁸	mm	□* ⁷ (□* ⁵)	
	胴 長 さ	mm	□* ⁹	
材 料	—	SGV49, SFVC2B		
個 数	—	2		

注：記載の適正化を行う。既工事計画書では原子炉格納容器として記載。

注記*1：S I 単位に換算したものである。

*2：重大事故等時の使用時の値。

*3：原子炉格納容器の最高使用温度（サプレッションチェンバ）を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主要寸法及び個数」と記載。

*5：公称値を示す。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-2 サプレッションチェンバスリーブの基本板厚計算書」による。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ふた板厚」と記載。

*9：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(3) エアロック

			変更前	変更後
名 称			所員用エアロック	変更なし
最 高 使 用 圧 力	内 圧	kPa	427* ¹	変更なし 854* ²
	外 圧	kPa	13.7* ¹	変更なし
最 高 使 用 温 度			171* ³	変更なし 200* ²
* ⁴ 主 要 寸 法	内 径	mm	□ * ⁵	変更なし
	胴 板 厚 さ* ⁶	mm	□ * ⁷ (□ * ⁵) □ * ⁷ (□ * ⁵)	
	と び ら 板 厚 さ* ⁸	mm	□ * ⁹ (□ * ⁵)	
	胴 長 さ	mm	□ * ⁵ , * ⁹	
材 料			—	SGV49
個 数			—	1

注：記載の適正化を行う。既工事計画書では原子炉格納容器として記載。

注記*¹：S I 単位に換算したものである。

*²：重大事故等時の使用時の値。

*³：原子炉格納容器の最高使用温度（ドライウエル）を示す。

*⁴：記載の適正化を行う。既工事計画書には「主要寸法及び個数」と記載。

*⁵：公称値を示す。

*⁶：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*⁷：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-1 ドライウエルの基本板厚計算書」による。












*⁸：記載の適正化を行う。既工事計画書には「とびら板厚」と記載。













*⁹：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-1-6 所員用エアロックの強度計算書」による。





















(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部

a. 配管貫通部

(a) ベローズ付貫通部

変更前									変更後																		
種類	個数	最高使用圧	最高使用温度(°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧	最高使用温度(°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号								
					外径*1	厚さ*2,*3	長さ*1								外径	厚さ	長さ										
1050A 貫通部	4	427 (kPa) ^{*4}	171	スリーブ	1066.8		3188 ^{*7}	SGV49	X-10A X-10D	変更なし	854 (kPa) ^{*8}	200 ^{*8}	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし										
				短管	1066.8		—	SGV49																			
				ベローズ	1195.0		—	SUS316L																			
			302	端板	1066.8		—	SFVC2B																			
		8.62 (MPa) ^{*4}	302	管	609.6		—	SFVC2B																			
		427 (kPa) ^{*4}	171	スリーブ	1066.8		2669 ^{*7}	SGV49										X-10B X-10C	変更なし	854 (kPa) ^{*8}	200 ^{*8}	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
				短管	1066.8		—	SGV49																			
				ベローズ	1195.0		—	SUS316L																			
	302		端板	1066.8		—	SFVC2B																				
	8.62 (MPa) ^{*4}	302	管	609.6		—	SFVC2B																				
	900A 貫通部	2	427 (kPa) ^{*4}	171	スリーブ	914.4		2850 ^{*7}	SGV49	X-12A	変更なし	854 (kPa) ^{*8}	200 ^{*8}	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	*10 X-12A									
					短管	914.4		—	SGV49																		
ベローズ					1045.0		—	SUS316L																			
302				端板	914.4		—	SFVC2B																			
8.62 (MPa) ^{*4}			302	管	457.2		—	SFVC2B																			
427 (kPa) ^{*4}			171	スリーブ	914.4		2850 ^{*7}	SGV49	X-12B										変更なし	854 (kPa) ^{*8}	200 ^{*8}	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	*12 X-12B
				短管	914.4		—	SGV49																			
				ベローズ	1045.0		—	SUS316L																			
		302	端板	914.4		—	SFVC2B																				
8.62 (MPa) ^{*4}		302	管	457.2		—	SFVC2B																				

変 更 前										変 更 後									
種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 力 最 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号
					外 径 *1	厚 さ *2, *3	長 さ *1								外 径	厚 さ	長 さ		
750A 貫通部	2	427 (kPa) *4	171	スリーブ	762.0		2714 *7	SGV49	X-33A X-33B	変更なし	変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200 *8	変更なし	変更なし	X-33A X-33B				
				短管	762.0		—	SGV49											
				ベローズ	885.0		—	SUS316L											
		302	端板	762.0		—	SFVC2B												
		8.62 (MPa) *4	302	管	355.6		—	SFVC2B			変更なし 10.34 (MPa) *8, *13	変更なし 315 *8, *13							
700A 貫通部	2	427 (kPa) *4	171	スリーブ	711.2		2704 *7	SGV49	X-32A X-32B	変更なし	変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200 *8	変更なし	X-32A X-32B					
				短管	711.2		—	SGV49											
				ベローズ	835.0		—	SUS316L											
		302	端板	711.2		—	SFVC2B												
		10.40 (MPa) *4	302	管	318.5		—	SFVC2B			変更なし	変更なし 315 *8, *13							
650A 貫通部 (次頁 へ続 く)	5 (次頁 へ続 く)	427 (kPa) *4	171	スリーブ	660.4		2592 *7	SGV49	X-31A	変更なし	変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200 *8	変更なし	X-31A					
				短管	660.4		—	SGV49											
				ベローズ	785.0		—	SUS316L											
		302	端板	660.4		—	SFVC2B												
			8.62 (MPa) *4	302	管	267.4		—	SFVC2B			変更なし 10.34 (MPa) *8, *15	変更なし 315 *8, *15						
			427 (kPa) *4	171	スリーブ	660.4		2670 *7	SGV49	X-31B	変更なし	変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200 *8	変更なし	X-31B				
	短管	660.4				—	SGV49												
	ベローズ	785.0				—	SUS316L												
302	端板	660.4		—	SFVC2B														
		8.62 (MPa) *4	302	管	267.4		—	SFVC2B			変更なし 10.34 (MPa) *8, *17	変更なし 315 *8, *17							

変 更 前										変 更 後									
種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 力 最 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号
					外 径 *1	厚 さ *2, *3	長 さ *1								外 径	厚 さ	長 さ		
(前頁からの 続き) 650A 貫通部	(前頁からの 続き)	427 (kPa) ^{*4}	171	スリーブ	660.4		3132 ^{*7}	SGV49	X-31C	変更なし	854 (kPa) ^{*8}	200 ^{*8}	変更なし	変更なし	X-31C				
				短管	660.4		—	SGV49											
				ベローズ	785.0		—	SUS316L											
		8.62 (MPa) ^{*4}	302	端板	660.4		—	SFVC2B	変更なし		315 ^{*8, *19}								
				管	267.4		—	SFVC2B	変更なし		315 ^{*8, *19}								
				スリーブ	660.4		2625 ^{*7}	SGV49	X-34		854 (kPa) ^{*8}	200 ^{*8}	変更なし	X-34					
		短管	660.4		—	SGV49													
		ベローズ	785.0		—	SUS316L													
		8.62 (MPa) ^{*4}	302	端板	660.4		—	SFVC2B	変更なし		315 ^{*8, *21}								
				管	267.4		—	SFVC2B	変更なし		315 ^{*8, *21}								
				スリーブ	660.4		2625 ^{*7}	SGV49	X-35		854 (kPa) ^{*8}	200 ^{*8}	変更なし	X-35					
		短管	660.4		—	SGV49													
ベローズ	785.0		—	SUS316L															
8.62 (MPa) ^{*4}	302	端板	660.4		—	SFVC2B	変更なし	315 ^{*8, *23}											
		管	267.4		—	SFVC2B	変更なし	315 ^{*8, *23}											
		スリーブ	609.6		2692 ^{*7}	STS42	X-50	854 (kPa) ^{*8}	200 ^{*8}	変更なし	X-50								
短管	609.6		—	STS42															
ベローズ	735.0		—	SUS316L															
600A 貫通部	1	427 (kPa) ^{*4}	302	端板	609.6		—	SFVC2B	変更なし	315 ^{*8}									
				管	216.3		—	SFVC2B	変更なし	315 ^{*8}									

変 更 前										変 更 後												
種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 力 最 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号			
					外 径 *1	厚 さ *2, *3	長 さ *1								外 径	厚 さ	長 さ					
500A 貫通部	2	427 (kPa) *4	171	スリーブ	508.0		2825 *7	STS42	X-36	変更なし	854 (kPa) *8	200 *8	変更なし	変更なし	X-36							
				短管	508.0		—	STS42														
				ベローズ	604.0		—	SUS316L														
			302	端板	508.0		—	SFVC2B														
		8.62 (MPa) *4	302	管	114.3		—	SFVC2B								10.34 (MPa) *8, *25	315 *8, *25					
		427 (kPa) *4	171	スリーブ	508.0		2815 *7	STS42								X-37	変更なし	854 (kPa) *8	200 *8	変更なし	変更なし	X-36
				短管	508.0		—	STS42														
				ベローズ	604.0		—	SUS316L														
			302	端板	508.0		—	SFVC2B														
		8.62 (MPa) *4	302	管	114.3		—	SFVC2B														
450A 貫通部	1	427 (kPa) *4	171	スリーブ	457.2		2584 *7	STS42	X-11	変更なし	854 (kPa) *8	200 *8	変更なし	変更なし	X-36							
				短管	457.2		—	STS42														
				ベローズ	554.0		—	SUS316L														
			302	端板	457.2		—	SFVC2B														
8.62 (MPa) *4	302	管	89.1		—	SFVC2B	10.34 (MPa) *8	315 *8														

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「呼び厚さ」と記載。

*3 : ()内は公称値を示す。

*4 : S I 単位に換算したものである。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-1 ドライウェルスリーブの基本板厚計算書」による。

*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-3 配管貫通部アセンブリの基本板厚計算書」による。

*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8 : 重大事故等時の使用時の値。

*9 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (高圧代替注水系), 圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (高圧代替注水系) に使用する場合の記載事項。

*10 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (高圧代替注水系), 圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (高圧代替注水系) と兼用。

*11 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (原子炉隔離時冷却系) に使用する場合の記載事項。

*12 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (原子炉隔離時冷却系) と兼用。

















*13 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (残留熱除去系) に使用する場合の記載事項。


*14 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (残留熱除去系) と兼用。










*15 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系, 代替循環冷却系, 残留熱除去系), 圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (代替循環冷却系, 低圧代替注水系) に使用する場合の記載事項。

- *16：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系，代替循環冷却系，残留熱除去系），圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系，低圧代替注水系）と兼用。
- *17：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系，残留熱除去系），圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系，低圧代替注水系）に使用する
場合の記載事項。
- *18：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系，残留熱除去系），圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系，低圧代替注水系）と兼用。
- *19：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）に使用する場合の記載事項。
- *20：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（残留熱除去系）と兼用。
- *21：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧炉心スプレイ系）に使用する場合の記載事項。
- *22：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧炉心スプレイ系）と兼用。
- *23：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心スプレイ系，低圧代替注水系）に使用する場合の記載事項。
- *24：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧炉心スプレイ系，低圧代替注水系）と兼用。
- *25：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系，原子炉隔離時冷却系），圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧代替注水系）に使用する
場合の記載
事項。
- *26：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系，原子炉隔離時冷却系），圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧代替注水系）と兼用。

(b) ベローズなし貫通部
[1] 直結型

変更前									変更後										
種類	個数	最高使用圧	最高使用温度(℃)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧	最高使用温度(℃)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号
					外径*1	厚さ*2,*3	長さ*1								外径*1	厚さ*3	長さ*1		
600A 貫通部	4	427(kPa)*4	171	スリーブ	609.6		2652*7	STS42	X-80	変更なし	854(kPa)*8	変更なし 200*8	変更なし			X-80			
				スリーブ	609.6		3205*7	STS42	X-81				変更なし				X-81		
			104	スリーブ	609.6		689*7	STS42	X-230				変更なし	529*7	変更なし	X-230			
				スリーブ	609.6		824*7	STS42	X-231				変更なし	684*7	変更なし				
500A 貫通部	5	427(kPa)*4	104	スリーブ	508.0		1350*7	STS42	X-214A	変更なし	854(kPa)*8	変更なし 200*8	変更なし			X-214A			
				スリーブ	508.0		1350*7	STS42	X-214B				変更なし			X-214B			
				スリーブ	508.0		1350*7	STS42	X-214C				変更なし			X-214C			
				スリーブ	508.0		1209*7	STS42	X-217				変更なし			X-217			
				スリーブ	508.0		1350*7	STS42	X-219				変更なし			X-219			
400A 貫通部	2	427(kPa)*4	171	スリーブ	406.4		2884*7	STS42	X-90	変更なし	1	854(kPa)*8	変更なし 200*8	変更なし					
				端板	407.0		—	SGV49						変更なし					
				スリーブ	406.4		2882*7	STS42	X-91					—*16					
				端板	407.0		—	SGV49						変更なし					
300A 貫通部	6	427(kPa)*4	171	スリーブ	318.5		2689*7	STS42	X-5	変更なし	4	854(kPa)*8	変更なし 200*8	変更なし					
				端板	501.0		—	SGV49						変更なし					
				スリーブ	318.5		2876*7	STS42	X-92					変更なし					
				端板	319.0		—	SGV49						変更なし					
				スリーブ	318.5		2876*7	STS42	X-93					変更なし					
				端板	319.0		—	SGV49						変更なし					
	104	スリーブ	318.5		513*7	STS42	X-215A X-215B	変更なし 854(kPa)*8	変更なし 200*8					変更なし	X-215A X-215B				
		スリーブ	318.5		521*7	STS42	X-222	変更なし	変更なし 200*8					変更なし	X-222				

変 更 前										変 更 後									
種 類	個 数	最 高 使 用 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号
					外 径 *1	厚 さ *2, *3	長 さ *1								外 径 *1	厚 さ *3	長 さ *1		
250A 貫通部	4	3.73 (MPa) *4	171	スリーブ	267.4		4049*7	STS42	X-30A	変更なし	変更なし	変更なし 200*8	変更なし			X-30A	*19		
				スリーブ	267.4		4049*7	STS42	X-30B				変更なし		4043*7		変更なし	X-30B	*20
		427 (kPa) *4	104	スリーブ	267.4		486*7	STS42	X-218 X-220				変更なし						
200A 貫通部	2	427 (kPa) *4	104	スリーブ	216.3		191*7	STS42	X-205A X-205B	変更なし	変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200*8	変更なし						
				端板	217.0		—	SGV49					変更なし						
150A 貫通部	9	1.18 (MPa) *4	171	スリーブ	165.2		2976*7	STS42	X-61A X-61B	変更なし	変更なし	変更なし 200*8	変更なし						
				スリーブ	165.2		3024*7	STS42	X-62A X-62B				変更なし						
		427 (kPa) *4	104	スリーブ	165.2		341*7	STS42	X-221		変更なし								
				スリーブ	165.2		376*7	STS42	X-232A X-232B		変更なし								
				スリーブ	165.2		456*7	STS42	X-241		変更なし								
				端板	166.0		—	SGV49			変更なし								
				スリーブ	165.2		456*7	STS42	X-242		変更なし								
端板		166.0		—	SGV49	変更なし													
100A 貫通部		7	427 (kPa) *4	171	スリーブ	114.3		4700*7	STS42		X-82A	変更なし	変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200*8	変更なし				
	スリーブ				114.3		4999*7	STS42	X-82B	変更なし									
	3.73 (MPa) *4		104	スリーブ	114.3		390*7	STS42	X-213A X-213B	変更なし			X-213A X-213B	*21					
				スリーブ	114.3		139*7	STS42	X-233	変更なし									
	427 (kPa) *4		104	—			—			X-240	変更なし								
				スリーブ	114.3		444*7	STS42	変更なし										
				端板	115.0		—	SGV49	変更なし										
スリーブ		114.3			444*7	STS42	X-243	変更なし											
端板	115.0		—	SGV49	変更なし														
										—*22									

変 更 前										変 更 後									
種 類	個 数	最 高 使 用 力	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 力	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号
					外 径 *1	厚 さ *2, *3	長 さ *1								外 径 *1	厚 さ *3	長 さ *1		
80A 貫通部	3	981 (kPa) *4	171	スリーブ	89.1		2950 *7	STS42	X-51	変更なし		変更なし	変更なし 200 *8	変更なし					
		1.37 (MPa) *4	171	スリーブ	89.1		2750 *7	STS42	X-60			変更なし	変更なし 200 *8	変更なし					
		863 (kPa) *4	171	スリーブ	89.1		2619 *7	STS42	X-70			変更なし	変更なし 200 *8	変更なし					
50A 貫通部	2	427 (kPa) *4	104	スリーブ	60.5		356 *7	STS42	X-212 X-223	変更なし		変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200 *8	変更なし					
32A 貫通部	137	13.83 (MPa) *4	171	スリーブ	42.7		2627 *7	SUS316LTP	X-20	変更なし		変更なし	変更なし 200 *8	変更なし			*23 X-20		
	7	427 (kPa) *4	171	スリーブ	42.7		2627 *7	SUS316LTP				変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200 *8						
25A 貫通部	137	13.83 (MPa) *4	171	スリーブ	34.0		2631 *7	SUS316LTP	X-21	変更なし		変更なし	変更なし 200 *8	変更なし			*23 X-21		
				スリーブ	34.0		2631 *7	SUS316LTP				変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200 *8						
	1	427 (kPa) *4	104	スリーブ	34.0		344 *7	SUS316LTP	*24 X-281	変更なし	変更なし 200 *8	変更なし		329 *7	変更なし	*25 X-281			
										*22									

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「呼び厚さ」と記載。

*3 : ()内は公称値を示す。

*4 : S I 単位に換算したものである。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-1 ドライウェルスリーブの基本板厚計算書」による。

*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-2 サプレッションチェンバスリーブの基本板厚計算書」による。

*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*8 : 重大事故等時の使用時の値。

*9 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系)、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (可搬型窒素ガス供給系、原子炉格納容器フィルタベント系) 及び圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) と兼用。

*10 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系、耐圧強化ベント系)、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系)、圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) と兼用。

*11 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (残留熱除去系) 及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (代替循環冷却系、残留熱除去系)、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (原子炉格納容器下部注水系、代替循環冷却系、残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)、残留熱除去系 (サブプレッションプール水冷却モード)) と兼用。

*12 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (残留熱除去系) 及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系)、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備 (残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)、残留熱除去系 (サブプレッションプール水冷却モード)) と兼用。

*13 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系) と兼用。


























*14 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧炉心スプレイ系) と兼用。

*15 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (高圧炉心スプレイ系) と兼用。

*16 : 当該貫通部については、**配管貫通部の**二重管型とするため**配管貫通部の**直結型から削除。



















- *17：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード））と兼用。
- *18：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系、原子炉隔離時冷却系）、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（高圧代替注水系）と兼用。
- *19：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、代替循環冷却系、残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード））と兼用。
- *20：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード））と兼用。
- *21：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（残留熱除去系）、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード））と兼用。
- *22：端板を撤去する。
- *23：計測制御系統施設のうち制御材駆動装置の制御棒駆動水圧設備（制御棒駆動水圧系）と兼用。
- *24：当該貫通部については、**配管貫通部の**計装用であったものを**配管貫通部の**直結型とするものである。
- *25：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（原子炉格納容器フィルタベント系）、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可搬型窒素ガス供給系、原子炉格納容器フィルタベント系）及び圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）と兼用。

[2] 二重管型

変更前										変更後													
種類	個数	最高使用圧	最高使用温度(°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧	最高使用温度(°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号				
					外径*1	厚さ*2,*3	長さ*1								外径*1	厚さ*3	長さ*1						
450A 貫通部	2	*4 427 (kPa)	171	スリーブ	457.2		2793*7	STS42	X-63	変更なし	854 (kPa)*8	200*8	変更なし										
				端板	457.2		—	SFVC2B															
		*4 1.27 (MPa)	171	管	216.3		—	STS42															
				*4 427 (kPa)	171	スリーブ	457.2						2688*7	STS42	X-64	変更なし	854 (kPa)*8	200*8	変更なし				
		端板	457.2				—	SFVC2B															
		*4 1.27 (MPa)	171	管	216.3		—	STS42															
*4 427 (kPa)	171			スリーブ	406.4		2882*7	STS42	X-91*9	変更なし	854 (kPa)*8	200*8	変更なし						2807*7	変更なし	*10,*15 X-91		
		端板	407.0		—	SGV49	変更なし							—					SGV480*7				
—				—				427 (kPa) 2.06 (MPa)*8					171 200*8	管*7					60.5*7			—	SUS304LTP*7
300A 貫通部	3	*4 427 (kPa)	171	スリーブ	318.5		2876*7	STS42					X-92*9	変更なし	854 (kPa)*8	200*8	変更なし		2801*7	変更なし		*11 X-92	
				端板	319.0		—	SGV49									変更なし	318.5*7		—			SFVC2B*7
		—				—											427 (kPa) 854 (kPa)*8	171 200*8	管*7	114.3*7			
		*4 427 (kPa)	171	スリーブ	318.5		2876*7	STS42	X-93*9	変更なし	854 (kPa)*8	200*8					変更なし		2751*7	変更なし	変更なし		
				端板	319.0		—	SGV49									変更なし	318.5*7		—			SUSF304L*7
		—				—											427 (kPa) 2.00 (MPa)*8	171 200*8	管*7	76.3*7			
	*4 427 (kPa)	171	スリーブ	318.5*5		2917*7	STS42	*12 X-106B					変更なし	854 (kPa)*8	200*8	変更なし		2842*7	変更なし	*10,*15 X-106B			
			端板	319.0*7		—	SGV49									変更なし			—			SGV480*7	
	—				—											427 (kPa) 2.06 (MPa)*8	171 200*8	管*7	60.5*7				—
	200A 貫通部	1	*4 427 (kPa)	171	スリーブ	216.3			2549*7	STS42	X-14	変更なし				854 (kPa)*8	200*8	変更なし					
				302	端板	216.3			—	SUSF316L													
			*4 10.40 (MPa)	302	管	27.2			—	SUS316LTP								変更なし	315*8				

O 2 ① Ⅱ R 1

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前										変 更 後												
種 類	個 数	最高使用圧	最高使用温度(℃)	構 成	主要寸法(mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 圧	最高使用温度(℃)	構 成	主要寸法(mm)			材 料	貫 通 部 番 号			
					外径*1	厚さ*2,*3	長さ*1								外径*1	厚さ*3	長さ*1					
150A 貫通部	8	*4 427 (kPa)	171	スリーブ	165.2		3018*7	STS42	X-13A X-13B	変更なし		変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200*8	変更なし	変更なし 315*8							
			302	端板	165.2		—	SUSF316L					変更なし 315*8									
		*4 8.62 (MPa)	302	管	27.2		—	SUS316LTP				変更なし 10.34 (MPa) *8	変更なし 315*8									
		*4 427 (kPa)	171	スリーブ	165.2		2617*7	STS42	X-22			変更なし						変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200*8	変更なし	315*8	*14 X-22
			302	端板	165.2		—	SUSF316L											変更なし 315*8			
		*4 8.62 (MPa)	302	管	48.6		—	SUS316LTP				変更なし 10.34 (MPa) *8,*13	変更なし 315*8,*13									
		*4 427 (kPa)	171	スリーブ	165.2		2955*7	STS42	X-52			変更なし						変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200*8	変更なし		
			端板	165.2		—	SUSF316L	変更なし 200*8														
		*4 981 (kPa)	171	管	76.3		—	SUS316LTP				変更なし 200*8										
		*4 427 (kPa)	171	スリーブ	165.2		2617*7	STS42	X-71			変更なし						変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200*8	変更なし		
			端板	165.2		—	SUSF316L	変更なし 200*8														
		*4 863 (kPa)	171	管	60.5		—	SUS316LTP				変更なし 200*8										
		*4 427 (kPa)	171	スリーブ	165.2		2617*7	STS42	X-72A X-72B			変更なし						変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200*8	変更なし		*15 X-72A X-72B
			端板	165.2		—	SUSF316L	変更なし 200*8														
		*4 1.77 (MPa)	171	管	60.5		—	SUS316LTP				変更なし 200*8										
		*4 427 (kPa)	171	スリーブ	165.2		2617*7	STS42	X-73			変更なし						変更なし 854 (kPa) *8	変更なし 200*8	変更なし		
	端板	165.2		—	SUSF316L	変更なし 200*8																
*4 1.77 (MPa)	171	管	60.5		—	SUS316LTP		変更なし 200*8														

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「呼び厚さ」と記載。

*3 : ()内は公称値を示す。

*4 : S I単位に換算したものである。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-1 ドライウェルスリーブの基本板厚計算書」による。

*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-3 配管貫通部アセンブリの基本板厚計算書」による。

*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。









*8 : 重大事故等時の使用時の値。

*9 : 当該貫通部については、**配管貫通部**の直結型であったものを**配管貫通部**の二重管型とするものである。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

- *10：計測制御系統施設のうち制御用空気設備（代替高压窒素ガス供給系）と兼用。
- *11：圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系）と兼用。
- *12：当該貫通部については、電気配線貫通部であったものを配管貫通部の二重管型とするものである。
- *13：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（ほう酸水注入系）、計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）に使用する場合の記載事項。
- *14：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（ほう酸水注入系）、計測制御系統施設のうちほう酸水注入設備（ほう酸水注入系）、圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（ほう酸水注入系）と兼用。
- *15：計測制御系統施設のうち制御用空気設備（高压窒素ガス供給系）と兼用。

[3] 計装用

変 更 前										変 更 後																
種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号							
					外 径 *1	厚 さ *2, *3	長 さ *1								外 径	厚 さ	長 さ									
400A 貫通部	23	427 (kPa) *4	171	スリーブ	406.4		2634 *6	STS42	X-130A X-130B X-130C X-130D X-135A X-135B	変更なし	変更なし	854 (kPa) *7	200 *7	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし									
				302	端板	407.0		—	SUS316L									X-135C X-135D X-139A X-139B X-140A X-140B	315 *7							
			171	スリーブ	406.4		2687 *6	STS42	X-136A X-136B				200 *7					変更なし	315 *7							
				302	端板	407.0		—	SUS316L				X-137B X-137D													
			171	スリーブ	406.4		2597 *6	STS42	X-137A X-137C				200 *7					変更なし	315 *7							
				302	端板	407.0		—	SUS316L				X-138													
			171	スリーブ	406.4		2877 *6	STS42	X-190A				200 *7					変更なし	変更なし							
				端板	407.0		—	SGV49																		
				スリーブ	406.4		2842 *6	STS42	X-190B																	
				端板	407.0		—	SGV49																		
			171	スリーブ	406.4		2784 *6	STS42	X-191A X-191B				200 *7					変更なし	変更なし							
				端板	407.0		—	SGV49																		
			300A 貫通部 (次頁 へ続 く)	7 (次頁 へ続 く)	427 (kPa) *4	171	スリーブ	318.5					3130 *6					STS42	X-150 X-153	変更なし	854 (kPa) *7	200 *7	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
							端板	319.0					—					SUS316L								
スリーブ	318.5						3200 *6	STS42	X-152A X-152C X-152D																	
端板	319.0						—	SUS316L																		

O 2 ① II R 0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前										変 更 後									
種 類	個 数	最 高 使 用 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号
					外 径 *1	厚 さ *2, *3	長 さ *1								外 径	厚 さ	長 さ		
40A 貫通部	5	427 (kPa) *4	171	スリーブ	48.6	 *5	2941 *6	STS42	X-160A X-160B X-160C X-160D X-161	変更なし		変更なし 854 (kPa) *7	変更なし 200 *7		変更なし				
25A 貫通部	5	427 (kPa) *4	104	スリーブ	34.0	 *9	319 *6	SUS316LTP	X-272A X-272C X-272E	変更なし	4	変更なし 854 (kPa) *7	変更なし 200 *7		変更なし				
		427 (kPa)	104	スリーブ	34.0	 *9	319 *6	SUS316LTP	X-280						変更なし				
		427 (kPa) *4	104	スリーブ	34.0	 *9	344 *6	SUS316LTP	X-281					— *10					
	端板			34.0	 *9	—	SUSF316L												
20A 貫通部	18	427 (kPa) *4	104	スリーブ	27.2	 *9	319 *6	SUS316LTP	X-260A X-260B X-261A X-261B X-271A X-271B X-272B X-272D X-272F	変更なし		変更なし 854 (kPa) *7	変更なし 200 *7		変更なし				
				スリーブ	27.2	 *9	326 *6	SUS316LTP	X-262A X-262B X-263					変更なし					
		863 (kPa) *4	104	スリーブ	27.2	 *9	321 *6	SUS316LTP	X-270A X-270B X-270C X-270D X-270E X-270F			変更なし		変更なし 200 *7	変更なし				

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「呼び厚さ」と記載。

*3 : ()内は公称値を示す。

*4 : S I 単位に換算したものである。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-1 ドライウェルスリーブの基本板厚計算書」による。

*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7 : 重大事故等時の使用時の値。

*8 : 外圧を示す。

*9 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-2 サプレッションチェンバースリーブの基本板厚計算書」による。

*10 : 当該貫通部については、配管貫通部の直結型とするため配管貫通部の計装用から削除。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

b. 電気配線貫通部

変更前										変更後									
種類	個数	最高使用圧	最高使用温度(°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧	最高使用温度(°C)	構成	主要寸法(mm)			材料	貫通部番号
					外径*1	厚さ*2	長さ*1								外径	厚さ	長さ		
450A 貫通部	4	*3 427 (kPa)	171	スリーブ	457.2*4		2834*5	STS42	X-101A X-101B	変更なし	23	変更なし 854 (kPa)*6	変更なし 200*6	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		
				アダプタ	457.2*5		157*5	STS42											
				ヘッド	457.2*5		—	SUS304											
				パイプ (ハウジング)	—	—	—	SUS304TB											
				スリーブ	457.2*4		2776*5	STS42	X-101C X-101D										
				アダプタ	457.2*5		157*5	STS42											
				ヘッド	457.2*5		—	SUS304											
				パイプ (ハウジング)	—	—	—	SUS304TB											
300A 貫通部	24*7 (次頁へ続く)	*3 427 (kPa)	171	スリーブ	318.5*4		2560*5	STS42	X-100A	変更なし	23 (次頁へ続く)	変更なし 854 (kPa)*6	変更なし 200*6	変更なし	変更なし	変更なし			
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42											
				ヘッド	381*5		—	SUS304											
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304											
				スリーブ	318.5*4		2551*5	STS42	X-100B X-102A X-102D X-104B										
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42											
				ヘッド	381*5		—	SUS304											
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304											
				スリーブ	318.5*4		2604*5	STS42	X-100C										
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42											
				ヘッド	381*5		—	SUS304											
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304											

変 更 前											変 更 後																																									
種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号																																	
					外 径 *1	厚 さ *2	長 さ *1								外 径	厚 さ	長 さ																																			
(前頁からの 続き)		*3 427 (kPa)	171	スリーブ	318.5*4		2587*5	STS42	X-100D	変更なし		変更なし	200*6	変更なし																																						
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																												
				ヘッド	381*5		—	SUS304																																												
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																												
				スリーブ	318.5*4		2638*5	STS42	X-102B X-102C										変更なし		変更なし	200*6	変更なし																													
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																												
				ヘッド	381*5		—	SUS304																																												
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																												
				スリーブ	318.5*4		2627*5	STS42	X-102E X-104D																				変更なし		変更なし	200*6	変更なし																			
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																												
				ヘッド	381*5		—	SUS304																																												
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																												
				スリーブ	318.5*4		2577*5	STS42	X-103A																															変更なし		変更なし	200*6	変更なし								
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																												
				ヘッド	381*5		—	SUS304																																												
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																												
スリーブ	318.5*4		2581*5	STS42	X-103B X-103C	変更なし		変更なし	200*6	変更なし																																										
アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																																
ヘッド	381*5		—	SUS304																																																
モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																																
(次頁に 続く)																																																				

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前											変 更 後																																	
種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 力 圧	最 高 使 用 温 度 (°C)	構 成	主 要 寸 法 (mm)			材 料	貫 通 部 番 号																									
					外 径 *1	厚 さ *2	長 さ *1								外 径	厚 さ	長 さ																											
(前頁からの 続き)		*3 427 (kPa)	171	スリーブ	318.5*4		2595*5	STS42	X-104A	変更なし		変更なし	200*6	変更なし	変更なし																													
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																				
				ヘッド	381*5		—	SUS304																																				
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																				
				スリーブ	318.5*4		2622*5	STS42	X-104C									変更なし		200*6	変更なし	200*6	変更なし	変更なし																				
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																				
				ヘッド	381*5		—	SUS304																																				
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																				
				スリーブ	318.5*4		2607*5	STS42	X-105A																		変更なし		200*6	変更なし	200*6	変更なし	変更なし											
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																				
				ヘッド	381*5		—	SUS304																																				
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																				
				スリーブ	318.5*4		2570*5	STS42	X-105B X-105D																											変更なし		200*6	変更なし	200*6	変更なし	変更なし		
				アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																				
				ヘッド	381*5		—	SUS304																																				
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																				
スリーブ	318.5*4		2633*5	STS42	X-105C	変更なし		200*6	変更なし	200*6	変更なし	変更なし																																
アダプタ	318.5*5		155.6*5	STS42																																								
ヘッド	381*5		—	SUS304																																								
モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304																																								
(次頁に 続く)																																												

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前										変 更 後										
種 類	個 数	最高使用 圧	最高使用 温 (°C)	構 成	主要寸法(mm)			材 料	貫 通 部 番 号	種 類	個 数	最 高 使 用 圧	最 高 使 用 温 (°C)	構 成	主要寸法(mm)			材 料	貫 通 部 番 号	
					外径*1	厚さ*2	長さ*1								外径	厚さ	長さ			
(前頁 からの 続き) 300A 貫通部	(前頁 からの 続き)	*3 427 (kPa)	171	スリーブ	318.5*4	() ^{*4}	2939*5	STS42	X-106A	変更 なし	(前頁 からの 続き)	変更なし 854 (kPa)*6	変更なし 200*6	変更なし						
				端板	319.0*5	() ^{*4}	—	SGV49												
				スリーブ	318.5*4	() ^{*4}	2917*5	STS42	X-106B					—*8						
				端板	319.0*5	() ^{*4}	—	SGV49												
				スリーブ	318.5*9	() ^{*9}	946*5	STS42	X-250A X-250B					変更なし 854 (kPa)*6	変更なし 200*6	変更なし				
				アダプタ	318.5*5	() ^{*5}	155.6*5	STS42												
				ヘッダ	381*5	() ^{*5}	—	SUS304												
				モジュール (ボディ/プラグ)	—	—	—	SUS304												

注記*1 : 公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

*3 : S I 単位に換算したものである。

*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-1 ドライウェルスリーブの基本板厚計算書」による。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6 : 重大事故等時の使用時の値。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「20」「2」「2」と記載。

*8 : 当該貫通部については、**配管貫通部**の二重管型とするため電気配線貫通部から削除。

*9 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成2年5月24日付け元資庁第14466号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-2 サプレッションチェンバスリーブの基本板厚計算書」による。